



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625

ホームページ▶

ふるさと上越



「たより」No.306 目次

5月の妙高山 撮影：小坂庸雄さん

会員数と「ふるさと市場」販売報告	1	上越タイムス・上越ケーブルビジョン	
「J」ネットの活動とお知らせ	2	(アクセス方法のご案内)	7
俳句ひろば	4	瀧川鯉橋師匠 高座予定	7
会員ひろば	5	上越産品販売のお知らせ	7
◇ ふるさと・大鹿		令和7年度「J」ネット総会スナップ	8
◇ おまんた、同級生だねかね！		上越市からのお知らせ	8
「J」ネットHPのご案内	7	◇ 上越市立歴史博物館 国宝「山鳥毛」特別展示 (事前予約制)	
		「J」ネットからのお知らせとお願い	8

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は499名(令和7年5月31日現在)

(2) ふるさと市場の販売取次状況 令和7年4-5月 187点 375,443円 ※前年同月 209点 275,566円

◆5月8日(木)湯島にてサロン開催

ボケ防止と健康づくりの時間…サロン。今は無き、関東八千浦会OBでもある福田先輩（Jネットワーク監事）に、久しぶりにお会いしました。私は、旧直江津市（さらに昔は旧中頸城郡八千浦村）黒井の出身で、隣の荒浜エリアご出身の福田先輩は希少な八千浦の出身者であります。

会報No.10（2001年）7頁に母校は今で、私の文責で八千浦中学校の紹介もさせて頂きましたが、八千浦の神から地名由来のエリアで、浜ですので、少々元気すぎる環境で幼少期を育ったわけです。それでも上京した際は、都会に気持ちが負けていた自覚はあり、これから自分の気持ちが負けないようにと頑張っていた姿が思い出されるわけです。バブルが崩壊以降は、自身の振り返りができない日々の中、Jネットが発足し、早々に入会をさせて頂き、心の拠り所を得た感じでした。

サロンには、なるべく参加し、若いころは心の健康づくりの場として、64歳の今はボケ防止の触発の場として、時折参加させて頂いておりますのは、諸先輩の元気なお姿と言葉を頂けるからで、一回りほど上の福田先輩や会員の皆さんとの会話は、まずは70歳までは現役で頑張ろうという糧になります。

どんな奴だ？となりますが、会報No.3（1998年）の7頁に若き頃の私がいたりしますが、総会やサロンでお会いできることを楽しみに、また参加したいと思います。

新会員が増えるように、私も微力ではありますが、頑張ります。

（坂詰真一 記）



今回は32名の参加、大変賑やかなサロンでした。初参加は森洋子さん、加藤宣之さん、久々の参加は藤田憲彦さん。森さんは「ブリューゲルの"劇場" 罪・祝祭・諺」を3月に出版されました。本件については本日より7月25日号で紹介記事を掲載します。

差し入れは、森さんからしらす煎餅、新山さんから茄子漬物、長谷川さんから一口饅頭、野田さん/浜野さんから一口饅頭とミニトマト、祖父江さんからハムソーセージ、若村さんから清酒加越と古都千年、高橋稔さんから清酒玉乃井、檜野さんから岩の原深雪花、小坂会長からもワイン。

ご馳走さまでした。

（事務局）

【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 ◆ R7.7月10日(木) ◆ R7.8月14日(木) 参加費1,500円
(予約不要・途中からのご参加もOKです。)開催時間17:30～19:00

会場：東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL：03-3832-7619
東京新潟県人会館アクセス（電車）

●東京メトロ千代田線「湯島駅」6番出口から徒歩1分 ●東京メトロ銀座線「上野広小路駅」4番出口から徒歩5分

●都営地下鉄大江戸線「上野御徒町駅」A4番出口から徒歩5分 ●JR山手線・京浜東北線「御徒町駅」南口から徒歩6分

◆ 第57回 J ネット勉強会

前島密翁墓前祭に参列と記念艦三笠の見学第57回勉強会報告

曇天の4月26日、前島密翁墓前祭が横須賀市芦名の浄楽寺で執り行われました。今年の墓前祭には小坂会長以下15名、故郷上越からは中川市長、「顕彰する会」の滝沢会長以下32名、主催者の「称える会」の方々および日本郵政グループ等で300余名が参列されました。式典の冒頭に、墓前祭等の運営にご尽力された吉崎庄司名誉会長が急逝された訃報に接し黙祷しました。代表者の挨拶の中で、晩年翁ご夫妻が芦名の地を終の棲家に決めて、如々山荘を建てられました。西伊豆の海を見ながら幼少期に見なれた直江津や糸魚川の海を思い馳せて余生を過ごされたと思いました。

式典終了後、懇親会は遠藤さんの紹介のお店で、14名の方が出席しました。初めに注文した「中生ビール」が東京の居酒屋では「大生ビール」の大きさに一同唖然としました。相模湾で取れたての海産物のコース料理は美味しく堪能しました。故郷の話題に花が咲き、楽しい時間はあっという間に過ぎりました。

次のテーマである「記念艦三笠」の見学に8名の方が参加しました。初めて三笠を見学して、内容も分かりやすく数多くの展示物も整理されて見応えがありました。三笠の艦長の話が出た時、小和田さんのご親類の方も三笠の艦長を務められていたと知ることを知り、親しみを覚えました。見学時間が1時間半では足りませんでした。(溝口良二 記)

前島記念館 (撮影：丸山 茂さん)
〒943-0119 新潟県上越市下池部1317-1
営業時間：9：00～16：00 (定休日 月曜)



◆ 第58回勉強会報告

♪ スーパーシニア音楽団『楽悠』第13回定期演奏会の鑑賞 ♪

今回の勉強会は、5月18日(日)朝霞市民会館(ゆめぱれす)で開催された演奏会の鑑賞でした。祖父江副会長以下9名の方が参加され、地元の多くの方々が来場され、演奏会は盛大に行われました。今回は、昨年のリクエストに応える形で選曲がされており、1部はクラシックの曲、2部はポピュラーな曲が中心でした。馴染みのある曲を吹奏楽団の生演奏で聴くと、その迫力に圧倒されました。更に楽団員の中には高齢(93歳)にもかかわらず管楽器を演奏されているのには驚かされました。「生涯現役」をモットーに演奏会で活躍されている姿に感銘を受けました。また、司会をされた女性の方は丁寧な言葉遣いで分かり易く曲名などを紹介され、自ら歌う場面も声量豊かで楽しませていただきました。僅かな時間でしたが、素晴らしい演奏を聞かせていただき心が癒されました。Jネット会員で演奏された土田さんから「今回は曲数が多いため進捗が早く、更に元気でテンポのよい曲もあったため高齢者には大変だった。」との感想をもらいました。

最後になりましたが、今回の演奏会は今年の秋頃にYou tubeにアップされるとのこと、「音楽団 楽悠」で検索をしてみてください。またバックナンバーは既にアップされているそうです。(溝口良二 記)



◆ 令和7年度 定時総会・講演会・懇親会開催

令和7年度定時総会は、5月24日(土)、アルカディア市ヶ谷で開催しました。中川幹太市長はじめふるさと応援室大谷健一郎室長、同室竹内学副室長、さらには賛助会員の上越ケーブルビジョン齋藤俊幸社長、上越タイムス社市村雅幸取締役、肝太の池田勝重取締役が出席され、そして一般会員が加わり総勢68名の参加になりました（昨年は59名）。

中川市長からは、今年はいろいろな節目の年で前週は合併20周年式典が行われ、その際ダンスで全国優勝した上越高校の演技も披露されたことの紹介、昨年度のふるさと納税が6億7千万円を超え、さらに今年度は10億円を目指して取り組んでいることのお話のあと、あらためて出席した市のご担当をご紹介します。

このあと会長から、昨年度は引き続いて新規会員数を増やすこと、活動をさらに活発にすることに注力したとの報告があったのち、議案審議に入り全ての議案が承認されました。

講演会では、【人生100年時代に立ちはだかる「80歳の壁」とは何か？】と題し、栗原毅先生（栗原クリニック東京・日本橋 院長、旧高田市大手町出身）から、たいへん興味深いお話を分かりやすく説明いただきました。

懇親会は祖父江ひろみ副会長の司会で進行、榊原家17代当主の榊原政信顧問、初代会長の佐久間昇二顧問のお二人から郷里に絡んだご挨拶をいただいたのち、佐久間顧問のご発声で乾杯、和やかな、時に賑やかな集まりになりました。途中齋藤社長、最年少参加の阿部太郎さん、当会高原隆副会長（瀧川鯉橋師匠）からお話をいただき、そのあと恒例のくじ引き、締めは上野邦治さんと大谷室長による音頭でそれぞれ勝どきと万歳三唱でお開きになりました。



小坂庸雄会長



中川幹太市長



榊原政信顧問



佐久間昇二顧問 (初代会長)



栗原毅先生

※ P8にも総会のスナップを掲載しています

俳句ひろば



上野直江

鳴りつづく雁木の街の軒風鈴

わつせわつせ法被にのぞく神輿舁

口に紅さして山車の子笛を吹く

打つよりも払ふが老いの蠅叩き

水夫みなカモメの色に更衣

ふるさと

◆ ふるさと・大鹿

小林 又次郎

私の故郷は「妙高市」である。少し前までは「妙高村」であった。更に遡ると、私が生まれた昭和27年当時は「大鹿村」であつたらしい。「らしい」というのは、私の記憶は「妙高村大鹿」から始まっているから。

妙高山を西に見て、関川を挟んで対峙する(対峙は大げさ)古塔山(標高643m・ことうのみねと呼ぶ)の裾野付近の集落、いわゆる山あい大鹿(おおじか)は在る。一帯の標高は250m強か。

平坦で陽当たりの良い土地は田んぼに譲り、やや坂道を昇り降りする、東西南北1km余四方のところに居住地域が集中している。かつては「大鹿は250軒」と言われ、庄屋が2家あったのだから大したものである。令和の今、庄屋屋敷は礎石を残すのみで、集落も150軒ほどである。

私が文字と加減乗除を学んだ「大鹿小学校」は、昭和の終わりとともに廃校となった。立派な石の門柱が当時のグラウンドに屹立しているのみである。私がアルファベットと社会生活を学び、歌謡曲を口ずさんだ「東妙高中学校」もすでに廃校となった。校舎は新興企業に譲渡され、見る影もない。

小学校入学は、同級生26人で迎えた。男14人、女12人。男性とか、男子とかの言葉はまだなかった。今思うと、全員田舎者で、関川と古塔山に囲まれた世界が全てであり、小さな幸せを満喫し、小さなグループを作り、仲間内で小競り合いさえ起こしていた。

足早に既に他界した同級生もいる。亡くなった当時はさほどに感じなかったが、今になって寂しく思い出したりする。

私はよく帰省する。父は私が18歳の時に他界したが、その後実家で母が長く一人住まいしていた。それもあって、よく帰省した。その母もあの世へ行って20年近くになるが、毎月のように帰省する。その理由の一つに、あの26人のうち8人が現に大鹿に住んでいることがある。

子供のころから「仲良し」だった者ばかりではないが、今は皆「大事な友だち」である。大鹿に足を踏み入れると、アイツが帰ってきたという話はすぐに広まる。一杯やろう。150軒の中に飲食店があるわけではない。誰かの家に上がり込んでワイワイとやる。キノコ・山菜・川魚・猪の肉。いつも同じ昔ばなし。それでいい。それがいい…。

豪雪地帯なので、実家の雪の処理にはいつも頭を悩ました。留守宅の屋根に上るので、誰にでも頼めるものではない。

代々の墓も実家の敷地内にある。この辺はそのような家が多い。

色々考えて、実家を取壊し雪処理の楽な小さな家を建てることにした。三間×四間でバストイレは個別に囲うがあとはL・D・Kの込々ひと間だけ。寝る時はロフト。5~6人で囲めるテーブルを据えた。このテーブルにも仕掛けがあるが、それは秘密である。

墓守りの家という名目であるが、「歓閑亭」と名付けた。暇(閑)を喜ぶ(歓)集まり処、である。

さあ、老後は忙しくなるぞ。

父ちゃん、母ちゃん、大丈夫、墓守りもちゃんとするから。



◆ おまんた、同級生だねかね！

小坂 庸雄

たより3月25日号伊藤利彦さんの寄稿文「ふるさと」という力 を興味深く読ませていただき、自分もふるさとの同級、同期の友人との出会いを振り返ってみることにした。

私が仕事或いは赴任先で同級生(同期生も含めこう言わせてもらう)と出会ったのは、45歳でタイ国に赴任した時からのことだ。

私は光学機器メーカーに勤めていて、タイへの赴任は1997年7月、丁度アジア通貨危機の始まりとされる時期。私とほとんど同時期に3名の高校同級生とタイで過ごすことになった。K・J君は大使館勤めでバンコクの中心街、N・M君はバンコク郊外の電子/化学製品工場、私はバンコクから70km北の古都アユタヤのカメラ工場。3人勤務場所は離れていたが、アパートは全員バンコクのスクムビットという中心街近くにあつて、半径200m内に3名が住み、そして全員単身赴任。それから3年くらい週末になるとよく集まって楽しんだ。昼ならゴルフ、夕方は食事、夜はカラオケクラブ、時には3つセットで。手配する分担は、私がゴルフ場、K・J君が食事、カラオケはN・M君の担当が多かった。3人とは直接的な仕事の付きいはなかったが、結構情報は交換していた。

タイ駐在時、仕事では1名工場にふるさとの同級生が訪ねてくれた。大手商社の電子部門にいた高校同級生O・Y君、後年彼はその部門のトップを経たのち電子部品の専門商社のトップに転身。そして今でも現役で、私が退職した会社に精密な製品を納入している。もう1名仕事ではないが、駐在中に訪ねてくれたのは小学校から同級だったI・N君だ。医師の彼は学会でバンコクに来た際、合間をぬって駐在3人組とゴルフに。滅多にないことだが、雨でゴルフを早めに切り上げ、飲み屋へ直行したのでよく記憶している。私には訪ねて来た同級生はこの2名だけだが、K・J君のところには、高校同級生H・E嬢ら女性数名が訪ねて来たという。羨ましい話だが、当時私にも一緒に会おうと声掛けしたが用事を理由に断われたと聞いた。大変失礼なことをしてしまったようだ。そしてそのH・E嬢が後年同級生たちの「修学旅行」を企画、実現してくれることになる。

時代は帰国して数年後、私は生産を統括するポストにいて、電子部品メーカーのトップで高校同級生のU・I君と出会った。彼の会社とは元々取引があつたが、2つのことでたいへんお世話になった。1つは私どもの中国の工場が彼の会社の工場のお隣さんになり、いろいろと情報交換させてもらい、アドバイスも頂戴した。もう1つは、東日本大震災の直後のこと、私どもの仙台の工場、U・I君の北上の工場が共に被災し、この時は工場の復旧工事のさなか、代替工場から電子部品を納めてもらう等多大な協力をいただいた。

ここ10年の間に同級生の大半が現役を退いているが、彼らとの活動はゴルフ、飲み会と、現在ますます活発だ。H・E嬢が中心になって2016年のハンガリーを皮切りに数回企画してくれた有志による「修学旅行」は、コロナで中断していたが、今秋にはインドネシアのバリ島に行くことが決定。今からたいへん楽しみだ。それにしてもよく続くものだ、この会は。だって、おまんた、同級生だねかね！



ベトナム旅行(H・E嬢、O・Y君参加)



ゴルフ会(O・Y君、U・I君参加)

Jネット ホームページ

◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。お知らせページでは各地の話題やイベント情報、会員ひろばでは、たくさんの話題、また会員のみなさんからの寄稿文やホットな情報もご覧いただけます。

ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンでは、右のコードからご覧いただくことができます。



上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

◆ Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP 右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。

瀧川鯉橋師匠 高座予定 鯉橋：090-4730-9032 rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp（鯉橋メール）

◇6/11(水)～15(日)上野広小路亭・昼の部

時 間：正午～午後4時半ごろ
※鯉橋は午後3時ごろの出番
木戸銭：2,500円(各種割引有り、要お問合せ)
主 任：桂 夏丸 ほかに夢太郎、
東京ボーイズなど出演。
お問合せ：03-3833-1789(広小路亭)

◇6/17(火)、7/29(火)「七人の侍」～流浪の落語会～

時 間：午後1時～3時半ごろ 木戸銭：1,500円
出 演：鯉朝、枝太郎、楽生、鳳志、鯉橋、藍馬
会 場：お江戸両国亭(墨田区両国4-30-4)

◇6/21(土)～25(水)浅草演芸ホール

夜の部＝鯉橋主任興行＝
時 間：午後5時～8時半ごろ
木戸銭：3,500円
(夜割あり、午後6時以降入場2,500円、7時以降2,000円)
主 任：瀧川 鯉橋 ほかに昇也、太福、小南など出演
お問合せ：03-3841-6545(浅草演芸ホール)

◇7/5(土)梶原いろは亭、「鯉橋・まん我二人会」

午後1時開演、詳細未定(北区上中里3丁目1-4)
お問合せ：03-6322-1622(いろは亭、水・土・日の昼間)

◇8/21(木)上野広小路亭、夜の部「鯉橋の会」

午後6時開演、2,000円、詳細未定
お問合せ：03-3833-1789(広小路亭)

☆ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～ <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194>どうぞご覧くださいませ。鯉橋拝

上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。

● 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

● 常設店舗「雪国商店」(有楽町駅から徒歩約3分)



場 所：有楽町交通会館1階
営.業時間：11:00～19:00
年中無休(年末年始は休業)

「雪国商店」または下記のURLよりご覧ください。
<https://yukiguni.shop/>

● 新潟・上越妙高「うまさ直送!雪国マルシェ」

日 時：6月28日(土)・29日(日) 7月26日(土)・27日(日)
会場・時間：11:30～17:30 交通会館1Fピロティ

お問合せ先 JCV東京情報センター TEL:03-5218-7730

◆総会スナップ 楽しく賑やかな会になりました。また来年！



上越市からのお知らせ

◇ 上越市立歴史博物館で国宝「山鳥毛」を特別展示します（事前申込制）

記念すべき第100回を迎える謙信公祭に合わせ、岡山県瀬戸内市のご協力のもと、上杉謙信公のゆかりの刀として知られる「山鳥毛（さんちょうもう）」の特別展示を実施します。

「上杉謙信公のふるさと」上越市への愛着と誇りを深める機会とすることを目指して行う展示です。

市外の皆さまにご覧いただく機会もご用意しておりますので、お盆に上越市に帰省される予定の方や、旅行を予定されている方はぜひお申し込みください。

- 期間：令和7年8月13日(水)～24日(日) 午前9時～午後7時
- 場所：上越市立歴史博物館（上越市本城町7-7）
- 観覧料：大人1,500円 ※観覧券の送料及び代引き手数料として500円がかかります
（特別展示のためJネット会員割引対象外となっております。）
- 観覧方法：事前申込制 ○申込方法：上越観光Naviによるオンライン申込
- 申込期間：令和7年7月6日(日)午前10時から 18日(金)午後5時まで（先着順）



← 詳細は上越観光Navi ホームページをご覧ください。



● ● ● ● ● ● ● ● ● Jネットからののお知らせとお願い ● ● ● ● ● ● ● ● ●

会員の皆様よりのご寄稿や風景写真、ご寄稿に関してのご意見などをお待ちしています。

Mail 送信先 事務局：k.miyazato@araip.co.jp

◎次号「たより」は令和7年7月25日の発行です。